



平成30年度当初予算の概要

平成30年2月
福 岡 県





平成30年度当初予算のポイント

九州北部豪雨災害の復旧・復興に全力で取り組むとともに、「県民幸福度日本一」を目指し、福岡県総合計画及び福岡県人口ビジョン・地方創生総合戦略に則して、以下の実現に向け、全庁を挙げて取り組む。

- ① 地域経済の活性化と魅力ある雇用の創出
- ② 若い世代の夢と希望をかなえる社会
- ③ 安全・安心、災害に強い福岡県
- ④ 誰もが活躍できる社会

特にスポーツを振興し、福岡県をさらに元気にする「スポーツ立県」を目指す。

一般会計歳入歳出規模

1兆7,325億円
(前年度比116億円、0.7%増)

(2年ぶりの対前年度増加)

財政改革プランの目標達成状況

	財政改革プラン		30年度当初予算
	目標	30年度見込	
プライマリーバランス	○29年度から33年度までの計画期間中に黒字化	5億円の赤字	豪雨災害復旧・復興対策により、58億円の赤字
通常債残高	○33年度末通常債残高を28年度末に比べ、780億円程度圧縮	28年度末に比べ229億円の減	豪雨災害復旧・復興対策、国の補正予算対応により、28年度末に比べ、373億円の増 (豪雨災害分と国補正分を除くと、289億円の減)
	○通常債の発行額及び残高を毎年度確実に減少させる	前年度に比べ発行額及び残高の減少	発行額は82億円の増、残高は28億円の減 (豪雨災害分を除くと、それぞれ25億円の減と135億円の減)
財政調整等三基金	○予期しない税収減や災害発生による支出増などへの対応に必要な残高を確保する	369億円	空港ビル株式売却収入65億円を含め386億円



一般会計予算のフレーム

(単位: 億円、%)

区 分	30年度 A	29年度 B	比 較			
			増 減 A-B	伸 率 A/B		
人件費	3,891	3,875	16	100.4		
社会保障費	3,271	3,249	22	100.7		
公債費	2,201	2,195	6	100.3		
公 共 事 業 費	補助事業費	1,066	989	77	107.7	
	単独事業費	711	781	△ 71	91.0	
	直轄事業負担金	281	218	62	128.6	
	合 計	2,057	1,989	68	103.4	
出 災 害 復 旧 費	224	14	210	1,603.4		
行政施策費	2,469	2,483	△ 14	99.4		
市町村交付金等	3,075	3,239	△ 164	94.9		
その他	138	165	△ 27	83.5		
合 計	17,325	17,209	116	100.7		
入	県税等	8,042	8,026	16	100.2	
	地方交付税	2,466	2,494	△ 28	98.9	
	国庫支出金	1,863	1,753	110	106.3	
	県債	通常債	1,334	1,252	82	106.6
		臨時財政対策債	925	966	△ 41	95.7
	財政調整基金等三基金繰入金	5	45	△ 40	11.1	
	その他	2,690	2,673	17	100.6	
	合 計	17,325	17,209	116	100.7	

※ 表示単位未満四捨五入の関係で、積上げと合計が一致しない箇所がある。

歳 出

- ◆ **社会保障費**は、子ども・子育て支援の充実等により22億円(0.7%)の増
- ◆ 豪雨災害復旧・復興対策の増等により**公共事業費**は68億円(3.4%)の増、**災害復旧費**は210億円の増
- ◆ **市町村交付金等**は、税源移譲により個人県民税所得割交付金が減となったこと等から164億円(5.1%)の減

歳 入

- ◆ **県税等**は、税源移譲による個人県民税の減があるものの、法人二税や地方消費税が堅調であることから16億円(0.2%)の増
- ◆ **国庫支出金**は、災害復旧費の増により110億円(6.3%)の増
- ◆ **通常債**は、豪雨災害復旧・復興対策により県債を発行することから82億円(6.6%)の増
- ◆ 収支均衡を図るため、**財政調整基金等三基金**から5億円を繰り入れ



地域経済の活性化と魅力ある雇用の創出

■ 中小企業の支援

中小企業向け制度融資を充実 融資総枠6,884億円を確保（うち新規融資枠3,285億円）

- ・ 事業承継を支援するための融資枠を創設 【新規】

中小企業の事業承継を促進 102万1千円【新規】

- ・ 事業承継の働きかけから実現まで一貫した支援を行うネットワーク体制を構築

中小企業の支援体制を強化 654万8千円【新規】

- ・ 「福岡県よろず支援拠点」の専門家の訪問指導により、地域中小企業支援協議会の重点支援企業への支援体制を強化

大川家具のブランド力を強化 474万4千円【新規】

- ・ 付加価値が高いイス・テーブルの開発に必要な木材曲げ加工技術習得や新製品の企画を支援

地域商品券による地域経済の活性化を支援 4億1,787万8千円（4億5,926万6千円）

- ・ 商工会議所・商工会や商店街が行うプレミアム付き地域商品券の発行を支援[発行規模：93億円]



<家具の製品化例>



<プレミアム付き地域商品券の販売風景>

※()内の金額は、特に表示がないものは平成29年度当初予算額、補正とあるものは前年度補正予算額

■ 先端成長産業の振興

北部九州自動車産業アジア先進拠点プロジェクトを推進 9,799万6千円(7,238万2千円)

- ・ 自動車の電動化の流れに対応するため、モーター等電動車の共通部品に関する研究会を開催 **【新規】**
- ・ 「アジア太平洋地域 I T S フォーラム 2 0 1 8 福岡」にブース出展し、北部九州自動車産業の拠点性を P R **【新規】**
- ・ 中京地区においてカーエレクトロニクス展示商談会を開催



＜カーエレクトロニクス
展示商談会＞

バイオ・メディカル産業の拠点化を推進 1,584万7千円(360万円)

- ・ 線虫を用いた簡便で高精度ながん発見技術の実証実験、大量のがん検査を行う解析装置の試作機開発を支援 **【拡充】**
- ・ 機能性表示食品の臨床試験に向けた可能性調査を支援、福岡発機能性表示食品・健康食品の展示・商談会を開催 **【新規】**

水素エネルギー分野への参入を強化 435万3千円【新規】

- ・ エネファーム分野への参入促進のための技術提案会を開催、中小企業が行う水素・燃料電池製品の実用化のための試作や試験を支援



＜バイオ関連展示商談会＞

I o Tを活用した製品・サービスの開発を支援 7,405万1千円(6,264万7千円)

- ・ 県内 I T 企業を対象とした顧客ニーズ把握のための現場見学会、ビジネスマッチングイベントを開催 **【新規】**
- ・ I o T を利用し熟練者の栽培技術の見える化を行い、八女伝統本玉露の生産技術伝承を後押し **【新規】**
- ・ I o T を活用した業務用電気製品の効率的な 3 R システムの構築に向けた実証試験を実施 **【新規】**

航空機産業への参入を促進 979万3千円(1,005万1千円)

- ・ 航空機産業への参入を目指す企業が連携して開催する技術研究会等を支援 **【新規】**

■ 農林水産業の競争力強化

農林水産物の販売・消費を拡大 3億5,500万4千円（1億6,824万9千円）

- ・ 「福岡の食」を使ったメニューを提供するアンテナレストランを東京に設置 【新規】
- ・ 県産酒のPR、バイヤーの招へいによる商談を行う「大ふくさけ祭り（仮称）」を開催 【新規】
- ・ 「ふくおかの地魚応援の店」での料理フェア開催、旬の魚等の情報を発信 【新規】
- ・ 「福岡の八女茶」統一ロゴマークを作成、移動茶室を活用した「プレミアム八女茶カフェ」を東京で開催 【新規】
- ・ 香港、タイで、シェフを招待した県産食材試食会とレストランでの「福岡キャンペーン」を実施、欧州に「八女茶」の常設コーナーを設置 【新規】
- ・ 県産米の海外需要開拓のため、パックごはんの売り込み、県産米のサンプル提供による営業活動を支援 【新規】
- ・ 民間や市町村施設に県産木材利用を提案するアドバイザーを派遣、県庁ロビーの木質化工事を実施 【新規】



<大川組子の移動茶室>

水田農業の競争力を強化 2億4,404万7千円（2億3,085万7千円）

- ・ 米を取り入れた経営一元化や園芸品目導入に取り組む法人を支援 【新規】
- ・ 「実りつくし」の需要喚起と認知度向上のため、外食・中食業者に対する産地見学会、情報交換会等を実施 【新規】



<「実りつくし」ロゴ>

活力ある高収益型園芸産地を育成 14億7,052万1千円（14億5,000万円）

- ・ 園芸産地の育成、雇用型経営導入等に必要な施設・機械の整備を支援、八女茶に係る施設を対象に追加 【拡充】
- ・ IoTを利用し熟練者の栽培技術の見える化を行い、八女伝統本玉露の生産技術伝承を後押し 【再掲】



<八女茶>

畜産業の競争力を強化 1億3,807万1千円(1億2,350万9千円)

- ・「博多和牛」の肥育技術向上及び繁殖雌牛の人工授精を支援 **【新規】**
- ・県産ブランド種鶏の分散飼育施設整備を支援、凍結精液の製造保管体制を構築 **【新規】**
- ・「はかた地どり」が持つ認知症軽減に効果があるといわれている機能性成分を活かした加工技術を開発 **【新規】**



<「博多和牛」ロゴ> <はかた地どり>

県産木材・製材品の供給力を強化 8,634万4千円(5,433万9千円)

- ・生産現場から合板工場等へ原木を直送する流通体制を管理するコーディネート活動を支援 **【新規】**
- ・廃消火器の薬剤を活用した低コスト県産防火性木材の製造技術を開発 **【新規】**



<木材搬出の様子>

水産資源づくりを推進 2,247万2千円(465万5千円)

- ・「全国豊かな海づくり大会福岡大会」を契機としたアサリ、アワビ、アカモク及びアユの資源づくりを推進 **【新規】**



<アサリ>

農業就業者の確保・育成対策を強化 3,789万7千円(1,386万5千円)

- ・新規参入希望者と経営を譲りたい農業者とのマッチングを実施、専門家相談等により円滑な経営継承を支援 **【新規】**
- ・従業員の独立就農ノウハウを習得するための農業法人の研修、法人ごとの独立就農支援プログラム策定を支援 **【新規】**
- ・農業大学校においてグローバルGAP認証を取得し、GAPの知識や実践力を身につけた農業人材を育成 **【新規】**

■ 本県の魅力発信と観光の振興

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の保存活用を推進 4,994万8千円（5,815万5千円）

- ・ 構成資産全体の魅力発信を強化するための新たな映像等を制作 【新規】
- ・ 専門家の講演等による世界遺産登録1周年記念イベントを開催 【新規】



<沖ノ島>

「明治150年」を契機に世界遺産等の魅力を発信 4,142万9千円（1,687万1千円）

- ・ 「明治日本の産業革命遺産」の県内構成資産の周遊ラリーや八幡・三池の関連資料の巡回展等を実施 【新規】
- ・ 創建当時の門司港駅の復原を支援、パネル展示や映像等により近代建造物をPR 【新規】



<門司港駅復原イメージ>

地域資源を活用した観光プロモーションを強化 4億911万7千円（5,329万円）

- ・ 県内周遊を促進するため、アニメ「名探偵コナン」を活用したミステリーツアー等を実施 【新規】
- ・ JR西日本等との連携による「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群を取り入れた旅行商品を造成 【新規】
- ・ 奈良県と連携し、関西圏で古代をテーマにした観光PRイベントを開催 【新規】
- ・ 関門海峡ミュージアムの魅力を高めるため、展示内容を更新・充実
- ・ 平成筑豊鉄道観光列車の整備を支援、沿線地域の地元産品をPR・販売するマルシェの設置を支援 【新規】

外国人観光客の受入環境を整備 2,575万7千円（1,617万2千円）

- ・ 観光案内所における無料公衆無線LAN環境の整備、ホームページや観光マップ等の多言語化を支援 【新規】



<「ご来福」しよう
キャンペーン>

伝統工芸の魅力を国内外に発信 6,004万5千円【新規】

- ・ 第35回伝統的工芸品月間国民会議全国大会を開催、国内外バイヤー招請による商談会を実施、海外メディアを通じ工芸品の情報を発信、県内サテライト会場における特別企画を実施
- ・ 東京に設置するアンテナレストランで伝統工芸品を展示PR



<博多織>

芸術文化活動を推進 3,439万2千円【新規】

- ・ 国内外のアーティストと地域住民等が連携したダンスプログラムを創作し、公演を実施
- ・ 九州芸文館開館5周年を記念し、国内外のアーティストによる展覧会や地域文化体験事業を開催
- ・ 障がい者アート普及イベントや「障がい者芸術祭（仮称）」を開催、障がいのある人の文化活動を支援



<九州芸文館>

福岡総領事館開設を契機としてタイ王国との交流を推進 1,683万9千円【新規】

- ・ タイフェスティバルを開催、国際交流員（タイ語）を新たに配置

■ 将来の発展基盤の整備

福岡・北九州空港を整備 67億8,257万円（46億4,194万8千円）

- ・ 福岡空港の滑走路を増設、平行誘導路を二重化
- ・ 北九州空港の滑走路の安全性を強化

北九州空港の利用を促進 5億5,870万9千円（4億1,262万5千円）

- ・ 国際貨物路線や国際・国内旅客路線の新規就航・定着を支援、福北リムジンバスの運行を支援



<ANA CARGO>



若い世代の夢と希望をかなえる社会

■ 働き方改革の推進

企業における働き方改革を推進 1,883万2千円 (1,325万4千円)

- ・ 企業等における定時退社等を促進する「FUKUOKA・よかばい・かえるばいキャンペーン」を実施 **【新規】**
- ・ 働き方改革推進大会を開催、職場改善に取り組む企業にアドバイザーを派遣

学校における働き方改革を推進 1億5,447万2千円 **【新規】**

- ・ 管理職の業務マネジメント及び教職員の勤務時間に対する意識改革を促進するため、県立学校に勤務時間管理システムを導入
- ・ 教員の業務の効率化を図るための情報共有システムを導入
- ・ 教員の負担軽減や部活動の質的向上のため、中学校・高校・特別支援学校に部活動指導員を配置



<働き方改革推進大会>

■ 子ども・子育て支援の充実

保育所・認定こども園等の運営を支援 210億2,072万5千円 (187億6,275万4千円)

- ・ 保育の受け皿拡大等に伴う利用人員の増加見込分(約9,200人)を確保
- ・ 技能、経験に応じた保育士等の処遇改善を実施

保育の担い手を確保 9,665万2千円 (1,240万4千円)

- ・ 処遇改善の要件となるキャリアアップ研修を実施、研修受講のために配置する代替職員費用を助成 **【新規】**
- ・ 保育士有資格者の求職や保育所等の求人を登録するシステムを構築 **【新規】**



■ 就職・仕事の支援

若者サポートステーションによる就職を支援 3,739万8千円 (3,395万9千円)

- ・ 40歳から44歳までの就職氷河期世代に対する個別相談、研修事業、就労体験を実施 **【新規】**



<就労体験>

がんの治療・介護と仕事の両立を支援 1,725万1千円【新規】

- ・ 短時間勤務等の両立支援制度の導入を検討する事業所にアドバイザーを派遣
- ・ 両立支援制度導入のための就業規則見直しに係る費用を助成

■ ふくおか未来人材の育成

小・中・高校における英語教育を充実 5,727万7千円【新規】

- ・ 小学校における英語教育の教科化のため、英語指導力の高い中核教員を育成、市町村の英語教育推進体制を整備
- ・ 中学生の英語力向上のため、民間が開発した英語能力測定テストを実施、英語スピーチコンテストを開催
- ・ 低所得世帯の高校生に英検等の受験費用を助成

良好な教育環境を確保 93億7,781万8千円（77億1,645万6千円）

- ・ 全県立学校の耐震工事を完了、学校施設の長寿命化改修等を実施

若者自立相談窓口(仮称)を設置 1,347万3千円【新規】

- ・ 必要な支援を受けていない高校中退した若者等を、適切な支援機関につなぐ相談窓口を設置



<授業風景>

■ 子どもの貧困対策

生活困窮者の自立支援を強化 2億189万2千円（1億7,810万円）

- ・ 生活に困窮する子育て世帯にホテル等の一時的な住居を提供し、賃貸住宅等への転居を支援【新規】
- ・ 就労に向けた準備が整っていない生活困窮者に対し、生活習慣改善等段階に応じた支援を実施【新規】

ひとり親世帯の所得向上を支援 8,281万3千円（5,433万7千円）

- ・ 養育費を確保するための広報啓発を実施、弁護士による無料法律相談のためのクーポンを配布【新規】
- ・ 就職に有利な資格取得を促進するため、多子世帯に修業期間中の生活費を助成【新規】



児童生徒を取り巻く生活環境を改善 8,455万8千円（5,036万9千円）

- ・ 市町村の全中学校区へのスクールソーシャルワーカーの配置費用を助成【新規】
- ・ 小・中・高校における不登校や中途退学等の生徒指導上の諸課題に対応するため、専門スタッフを配置【拡充】



安全・安心、災害に強い福岡県

■ 豪雨災害復旧・復興対策

被災者の住宅確保を支援 11億1,023万円【新規】

- ・ 全壊・大規模半壊世帯又は半壊で解体した世帯が住宅再建のために受ける融資の利子相当額を助成
- ・ 自力再建が困難な被災者の住まいを確保するため、朝倉市・東峰村から受託し災害公営住宅等を整備



<災害公営住宅のイメージ>

被災した道路や河川、施設等の復旧を加速化するとともに災害の再発防止対策を推進

226億9,290万5千円 (9月補正:443億9,458万3千円、12月補正:269億6,148万円)

- ・ 道路や河川、砂防施設等の復旧 102億1,330万4千円
- ・ 農地や農業用施設、林道等の復旧 63億9,493万4千円
- ・ 災害復旧と併せて行う道路や河川の改良工事を実施 23億7,835万7千円
- ・ 土石流やがけ崩れが発生した箇所には砂防ダム等を設置 37億631万円



<河川の改良工事>



<砂防ダムの設置>

土砂災害情報の市町村、住民への配信強化により、迅速な避難行動を支援 9,000万円【新規】

- ・ 被災地における二次災害防止のため、土石流の発生を検知するワイヤセンサ等を設置し、サイレンやメール配信を通じて発生情報を提供
- ・ 土砂災害危険度の画像情報を配信するシステムを整備

■ 地域防災力の向上

緊急輸送道路等を整備 194億2,531万5千円（189億3,813万8千円）

- ・ 緊急輸送道路の整備、橋りょうの老朽化対策、道路法面の崩壊・落石対策工事等を実施

ため池等の安全対策を推進 49億7,510万1千円（49億4,002万2千円）

- ・ ため池・農業用ゲート・用排水ポンプ等の老朽化対策を実施

防災情報の伝達を強化 5,107万3千円【新規】

- ・ 災害により孤立するおそれがある地域の通信手段を確保するため、市町村が導入する衛星携帯電話等の整備を支援
- ・ 土砂災害危険度の画像情報を配信するシステムを整備 【再掲】

大気環境観測体制を強化 2,197万円【新規】

- ・ 測定局を耐震化、移動測定車の機能を強化、六価クロム及び水銀の観測機器を整備



<道路法面の崩壊対策>



<移動測定車>

■ 徹底した治安の確保

暴力団からの危害防止と暴力団員の離脱就労支援を強化 1億707万7千円（1億176万円）

- ・ 暴力団からの危害防止を強化するための資機材を整備
- ・ 暴力団員の離脱就労支援期間中の避難場所等を確保、広域連携都府県の企業面接のための旅費を助成 【新規】

飲酒運転撲滅対策を強化 474万6千円【新規】

- ・ 飲酒運転等の危険性を体験できるバーチャルリアリティ動画を活用した交通安全教育を実施



性犯罪対策を強化 1,538万9千円 (686万2千円)

- ・ 若年女性の防犯意識を向上させるため、防犯アプリ「みまもっち」に防犯啓発動画配信等の機能を拡充 【拡充】

「ニセ電話詐欺」対策を強化 2,329万1千円 (1,163万6千円)

- ・ 被害に遭うおそれがある県民の方に対するコールセンターからの電話による注意喚起を実施



ストップ！ニセ電話詐欺！
電話で「お金」は、すぐ相談！

暮らしの安全・安心の確保

地域における生活交通を確保 3億4,301万円 (3億2,197万3千円)

- ・ コミュニティバスの新規路線開設や地域の実情に応じたデマンド交通等への転換を促進 【新規】



<コミュニティバス>

自転車の安全利用・活用を推進 1,028万2千円【新規】

- ・ 自転車安全利用のための映像コンテンツや多言語チラシを作成し、条例の周知や意識啓発を実施
- ・ 自転車の利用実態等を調査し、福岡県自転車活用推進計画を策定



空き家対策を充実 1,906万8千円 (1,593万7千円)

- ・ 不動産情報ネット「ふれんず」に、県全域の空き家情報を提供するシステムを構築 【新規】
- ・ 既存建物の安心した取引を促進するため、売主・買主が行う「住まいの健康診断」（建物状況調査）の費用を助成

産業廃棄物の監視指導を強化 1,016万円【新規】

- ・ 立入検査における廃棄物の保管量・温度測定にドローンを導入し、監視体制を強化



<県民参加の森林づくり>

もり 荒廃森林の整備や県民参加の森林づくりを推進 14億538万6千円 (15億7,911万5千円)

- ・ 森林環境税を活用し、強度間伐や広葉樹の植栽等の取組みを支援 【拡充】



誰もが活躍できる社会

■ 女性、高齢者、障がいのある人の活躍推進

企業や地域における女性の活躍を応援 4,024万4千円 (3,486万1千円)

- ・ 女性活躍推進のためのセミナーを開催、専門家による個別サポートを実施 【拡充】

女性医師のキャリア形成を支援 429万5千円 (127万4千円)

- ・ ロールモデルとなる女性医師との交流会を開催、女性医師のキャリアプランを提案するガイドブックを作成

70歳現役社会づくりを推進 1億5,816万6千円 (1億5,678万5千円)

- ・ 70歳まで働ける企業を拡大するため、社会保険労務士を活用し制度導入を支援 【新規】

発達障がいのある人の支援を強化 8,885万8千円 (6,808万8千円)

- ・ 発達障がい児者に医学的見地から療育支援を行う事業所を指定 【新規】
- ・ 発達障がい者地域支援マネージャーを増員 (2地域→4地域) 【拡充】

医療的ケア児者の支援を強化 314万5千円 【新規】

- ・ 医療的ケア児者の生活状況、支援サービスのニーズを調査



<70歳現役応援センター>



<発達障がい者支援センター>

農業における障がいのある人の雇用を支援 385万6千円【新規】

- ・ 障がいのある人の雇用を進めるため、地域におけるコーディネート活動を支援



■ 県民の健康づくりの推進

健康づくり県民運動を推進 2,915万7千円【新規】

- ・ 行政、保健・医療団体、企業・経営者団体、マスコミ等で構成する「健康づくり県民会議（仮称）」を設置
- ・ 健康づくりの取組みを宣言した企業・事業所を募集・登録し、優良企業等を表彰する制度を創設

大切な人へのメッセージカードによりがん検診受診を勧奨 786万円【新規】

- ・ 中学生に「がん」を題材とした講演会を開催、家族に死したメッセージカードを作成し受診を勧奨



■ 医療提供体制の確保

介護医療院等への転換を支援 9億7,818万8千円（1億2,300万円）

- ・ 医療・介護療養病床から介護医療院等への転換に必要な整備費用等を助成



国民健康保険事業の運営を強化 [国民健康保険特別会計] 5,354万8千円【新規】

- ・ 平成30年度から、県が財政運営の責任主体となり、新たに「国民健康保険特別会計」を設置
- ・ 保健指導の充実強化のため、市町村が行う特定健診未受診者の医療情報の収集費用を助成
- ・ 市町村が実施する療養費の点検と患者調査、事務処理システムの改修、収納対策アドバイザーの任用を支援



スポーツ立県福岡

ラグビーワールドカップ2019の福岡開催を推進 8,148万7千円(4,149万3千円)

- ・ 強豪国招致による大会リハーサルを実施、アジアラグビー交流フェスタ(仮称)を開催【新規】
- ・ ラグビーの普及活動や気運醸成の取組みを実施、カウントダウンイベントを開催

ラグビーワールドカップ2019に向けたプロモーションを実施 4,287万6千円【新規】

- ・ フランス・香港・豪州における観光セミナーやPRブース設置等の誘客活動を実施
- ・ 観光PR用の写真・動画を制作し、観光パンフレットや旅行情報サイトに掲載
- ・ 現地旅行社を招請し観光地の視察や商談会を実施、外国人向け県内周遊旅行商品の造成を支援

キャンプ地誘致等を推進 5,587万6千円(2,304万4千円)

- ・ ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致に取り組む市町村を支援【拡充】
- ・ 福岡県聖火リレー実行委員会(仮称)を設置【新規】



トップアスリートの育成を強化 4,720万8千円(2,141万7千円)

- ・ 2020年東京オリンピック出場の可能性が高い高校生ジュニアアスリート及び帯同者の海外遠征等を支援【拡充】
- ・ 国内外の大会に出場する障がい者アスリート及び帯同者の海外遠征等を支援

障がい者スポーツを推進 1,716万4千円(797万6千円)

- ・ 特別支援学校等を活用した障がい者スポーツ活動の立ち上げを支援【拡充】
- ・ 県民体育大会の障がい者の部を拡充【拡充】

スポーツや運動の機会を創出 544万2千円【新規】

- ・ ショッピングセンターで、気軽にできるスポーツを紹介、体験ブースを設置
- ・ 市町村が行うスポーツ関連事業の企画力向上を図るための研究会を開催



<車いすバスケット>

